

グリーンローンの契約締結について



株式会社三谷フーズは、株式会社横浜銀行との間で、「グリーンローン原則2023」および環境省グリーンローンガイドライン(2022年版)に則ったグリーンローンを締結しましたのでお知らせします。

1. グリーンローンの概要

契約締結日	2023年8月31日
アレンジャー/エージェント	株式会社横浜銀行
借入期間	5年
資金用途	高性能の排水処理設備を導入し、廃棄物量の削減を図る
第三者評価	株式会社格付投資情報センター

2. 環境目標と取組意義

当社は、高効率に油脂汚泥または油脂成分を分解することができる「高効率な排水処理設備」へ切り替えることで、工場から発生する廃棄物量を削減し環境改善に取り組めます。本設備導入に伴う廃棄物削減状況について年に一度グループ会社である株式会社フーズプランナーのホームページにて開示予定です。

3. グリーンプロジェクトの概要とSDG s の関連性

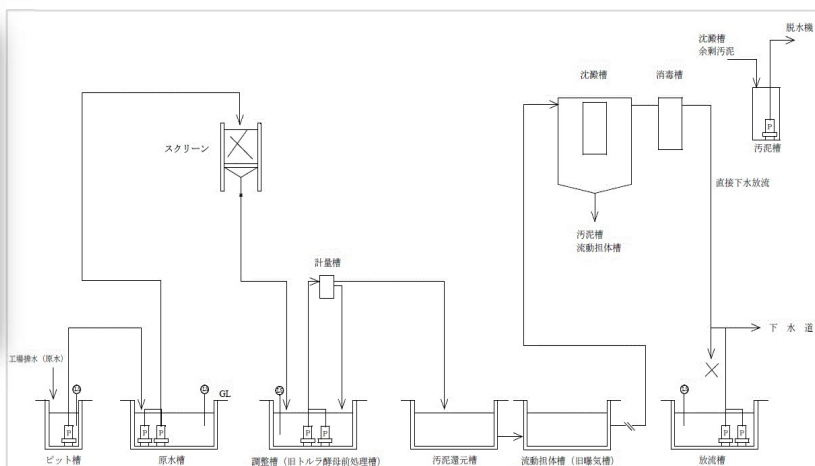
新たな排水処理設備を導入することにより、排水に含まれる油脂成分が微生物により分解され、廃棄物量の削減に繋がる



12-5
2030年までにごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。



排水処理設備



排水処理設備フロー図

4. レポートニング

(1) 賃金充当レポートニング

本フレームワークに基づき調達された資金が全額充当されるまでの間、以下の資金充当状況に係る内容を守秘義務の範囲内かつ合理的に対応可能な範囲で、HP上で年次報告します。

調達資金の充当計画に大きな変更が生じた場合や、充当後に充当状況に大きな変化が生じた場合は、速やかに開示する予定です。

- ① 調達資金の充当状況
- ② 未充当資金の額および運用方法
- ③ 資金充当の予定

(2) インパクト・レポートニング

本フレームワークに基づき調達された資金が償還されるまでの間、以下の環境改善効果に係る指標を守秘義務の範囲内かつ合理的に対応可能な範囲で、フーズプランナーのHP上で年次報告します。

* 環境改善効果の算定方法は以下の通り。

環境改善効果	設備導入による廃棄物削減量
算定方法	新たな排水処理設備の仕様・能力等に基づき設備納入業者によって推計された廃棄物の削減率に、既存工場で発生している廃棄物量の実績を乗じることで、新たな排水処理設備導入により削減される廃棄物量を推計する。
算定式	$\text{廃棄物の削減量(t/年)} = \text{初年度の廃棄物量削減率} \times \text{2022年度の廃棄物量実績}$ $\text{総事業費に対するグリーンローンの借入額の割合に応じた正味廃棄物削減量(t/年)} = \text{廃棄物削減量(t/年)} \times \text{グリーンローン借入額} \div \text{総事業費}$